

人類働態学会 21期 第6回理事会

日時：2011年9月7日（水） 18:00～20:00

場所：大妻女子大学 資料館 小会議室

出席者：植竹照雄、榎原 毅、岡田 明、酒井一博、下田政博、鈴木一弥、橋本修左、  
長谷川徹也、平野和彦、堀野定雄、真家和生、水野基樹、水野有希、吉川悦子

配布資料： 資料1 21期第6回理事会次第                      資料4 研究推進科研費申請について  
                 資料2 次世代企画    資料5 バックナンバーの残部  
                 資料3 研究推進打合せ内容                                      資料6 財務状況

\*\*\*\*\*

会員動向（下記を含め223人、うち学生20人、名誉会員保留の佐藤陽彦先生は含まず）

<退会> なし

<入会> 本田勇輝(順天堂大学大学院)、菅又雄太郎(順天堂大学大学院)、水澤隆(順天堂大学大学院)、  
東使由紀子(順天堂大学大学院)、森浩昭(順天堂大学大学院)、庄司直人(順天堂大学大学院)、  
福司光成(高崎経済大学大学院)、宇土博(ウド・エルゴ)

#### 議事次第

##### ●審議事項

#### 1. 第47回大会

- ・大会日程は、2012年6月16日（土）、17日（日）
- ・会場は、防衛医科大学近辺、もしくは所沢駅を最寄り駅とする公共施設を検討中。

#### 2. 東日本地方会、共生シンポ

- ・共生シンポは11月12日（土）、東日本地方会は11月13日（日）に、電気通信大学で開催する。
- ・共生シンポは13:00～15:00、後半は次世代企画の講習会を行う。今年度は財政状態も考慮して、共生シンポジウム・次世代企画の参加費は、会員が無料、非会員は1千円、学生は500円とする。また、補助金は、昨年の収支結果を基に、今年度は共生シンポジウム2万円、次世代企画2万円、東日本地方会5万円とすることとする。
- ・共生シンポジウムは、開催後に司会が内容をまとめて会報に報告し、次号に掲載する。
- ・

#### 3. 次世代企画（企画講習会）について

- ・次世代の答申書を受けて、共生シンポジウムの日程の後半で、働態研究の方法をテキストにした講習会を行い、今後、統計や英語論文の書き方などを企画中。講習会の講師は学会員に協力してもらい、若手研究者にもお願いすることを検討している。

#### 4. 働態学会の研究活動について

- ・人間工学チェックポイント  
ヒューマンケアワークのチェックポイントは60項目にまとめ、9月中にイラストは原案ができる。情報は学会のHPにアップする予定。最終提出が12月となっている。

・研究推進事業

- ①順天堂G：スポーツ、健康
- ②和歌山G：社会システム、デザイン
- ③農工G：反応時間、認知、事故
- ④電通G：車々間通信
- ⑤その他（真家氏、松村氏）：利き、左折右折など

個人のレベル、大学レベル、学会レベルで科研費を申請したい。研究推進からの提案を各担当教員に願います。キーワード、焦点を修練し、具体的な課題を学会が提示する。

5. バックナンバーの残部対応について

- ・バックナンバーについては、古本屋への売却は極めて廉価であることが判明したため、中止とし、主として新入会員へのサービスや広報に用いる。
- ・目次や残部を HP に掲載し、入会の宣伝として新入会への配布や、国際学会に見本として配布することとした。近日中に残部数の把握を行う。

6. 第 22 期選挙日程

- ・新理事へ連絡を年度内に行うため、選挙日程は、年内中に選挙告知を行い、年明けに投票、2 月中に開票を行うようにする。

7. その他

財政状況（竹内理事からの配布資料参照）

- ・会報と JHE の印刷代で年会費徴収金額と同等分に相当しているため、印刷費削減（印刷部数の削減や年 2 回の刊行を 1 回にするなど）や他の支出の削減、もしくは学会年会費の値上げなどの検討が必要。ここ数年、定期刊行が軌道に乗り、過年度の繰越金が相当額減っている。
- ・協賛企業を募ること、JHE や会報等に広告を載せ、収入増を図りたいという意見も提出されたので、この件についてはメール審議とした。

西日本地方会（長谷川理事から）

- ・西日本地方会は各年開催することになり、今年度は開催しない。

次回の理事会は、後日メールにて連絡

以上